

「深山に抱かれた留真温泉は四季折々の野鳥の声に心が洗われる」

、「深山故に、幽玄な自然の気が体内を浄化する」、「ほのかに暖かく岩から湧き出る温泉は肌に優しく体内の毒素を打ち消すようだ」と賞される留真温泉。お湯は、つるつるの感触で肌をすすべにしてくれ、美容と健康の霊泉として有名です。無色透明な単純硫酸温泉で、PH9・6のアルカリ泉質は神経痛や関節痛などに効果があり、国内でも大変珍しい泉質で多くの人々から愛されてきた浦幌の貴重な財産です。

留真温泉は、平成13年に町の第3セクターである株式会社ユーエムが取得しました。翌年、留真温泉の健全な存続を図るため、町が3900万円を取得し、施設の管理・運営を同社に委託してきました。しかし、施設の老朽化などが要因となり利用者数は年々減少し、同社の温泉事業は、赤字の状態が続いていました。特に今年度は入浴客数が対前年比（4～9月の上半期）で約3500人減ったことと、灯油価格が高騰したことで赤字が膨らむ見通しとなり、冬季間

を休業することになりました。

留真温泉は築40年以上が経過し、老朽化が著しい施設は利用者数減少の大きな要因の一つとなつていきます。留真温泉の再生については、平成14年に留真温泉町民検討委員会を組織して検討し、開発の方向性が報告されています。報告書では、貴重な源泉と恵まれた自然環境を起爆剤に新産業の創出などハード・ソフト事業の両面から提言があり、留真温泉の早期改築が要望されています。

町民の方からも改築を望む多くの声が町に寄せられています。町は今年度策定した「まちづくり計画」の後期実施計画で、平成22年度に浴場の改築を計画していますが、先行きの見えない厳しい財政状況の中、改築が実現されるかは不透明な状態です。

留真温泉は、特色あるまちづくりをすすめるための核となる魅力を持っていますが、その魅力をどう生かすのか、どのようにして他の産業と結びつけ地域を活性化していくのか、町には具体的な構想がありません。

地方分権で自治体運営は、「管

施設の老朽化や灯油価格の高騰により

留真温泉が12月1日から来年3月31日までの4か月間を休業。

# 留真温泉は再生でできるのか。

理」から「経営」へと転換していきます。町の財政状況を考えれば、住民の福祉向上や雇用対策といった理由で、温泉事業への損失補填は許されません。

現状のままであれば、営業を再開しても赤字に転換する見込みは薄いと判断できます。帯広畜産大学と共同で、飲用温泉水の生活習慣病への効用研究も進められています。このまま経営を続けるのであれば、皆さんに留真温泉の再開計画について、具体的な構想を示していかなければならない時機が到来しているのではないのでしょうか。

留真温泉はまちの活性化の核となりえるのか。町の手腕が問われています。



## 平成 17 年度 予算執行状況 公表(上半期)

町の財政事情を正しく理解していただくために、町の収入および支出の状況や住民負担の状況、財産、公債等の状況を公表するものです。今回は平成 17 年度上半期の状況をお知らせします。

平成 17 年度の一般会計予算は、歳入歳出それぞれ 53 億 5,690 万円(うち繰越明許費予算 1,290 万円)でスタートしましたが、その後予算補正が行われ現計予算は歳入歳出それぞれ 54 億 9,884 万 7 千円となっています。

歳入は、予算の 53.9%に当たる 29 億 6,313 万円が収入され、このうち歳入予算額の 9.7%を占める町税(5 億 3,132 万 8 千円)は、60.6%に当たる 3 億 2,217 万 5 千円が収入されています。

また、歳出は予算の 36.6%に当たる 20 億 1,035 万 1 千円が使われ、歳入歳出収支は、9 億 5,277 万 9 千円の余剰を生じています。

なお、歳入歳出の内訳、基金、公債および一時借入金の状況については、表のとおりです。

町の会計は、一般会計の他に、町有林野、模範牧場、国保事業、老人保健、介護保険、町立診療所、公共下水道、個別排水処理および簡易水道の 9 特別会計を設置しています。これらの会計の執行状況についてもお知らせします。(収支差引不足分は、一般会計からの一時補填金により賄われています。)

### ■一般会計予算歳入 (単位：千円)

区	分	予算現額	収入済額
町	税	531,328	322,175
	町民税	199,801	88,411
	固定資産税	272,725	200,266
	軽自動車税	10,249	10,202
	町たばこ税	47,272	22,770
	入湯税	1,281	526
	地方譲与税	154,000	48,264
	利子割交付金	5,000	1,725
	配当割交付金	600	262
	株式等譲渡所得割交付金	3	1
	地方消費税交付金	65,000	35,135
	自動車取得税交付金	40,000	14,616
	地方特例交付金	15,604	15,604
	地方交付税	2,959,577	2,180,212
	交通安全対策特別交付金	1,800	974
	分担金及び負担金	211,166	85,525
	使用料及び手数料	144,272	70,622
	国庫支出金	196,480	25,325
	道支出金	277,126	37,600
	財産収入	38,289	29,228
	寄附金	610	700
	繰入金	40,009	0
	繰越金	79,709	79,709
	諸収入	279,474	15,453
	町債	458,800	0
合	計	5,498,847	2,963,130

### ■基金の残高 (単位：千円)

区	分	金額
一般会計	財政調整基金	277,907
	減債基金	26
	特定目的基金	96,926
特別会計	町有林野経営基金	31,269
	模範牧場事業基金	15,467
	介護保険給付費準備基金	13,396
	簡易水道事業基金	1,044
合	計	436,035

### ■一時借入金の現在高 (単位：千円)

区	分	金額
一般会計		0
特別会計		0
合	計	0

### ■特別会計執行状況一覧表 (単位：千円)

区	分	予算現額	収入済額	支出済額	収支差引額
町有林野		76,829	54,069	55,464	△ 1,395
模範牧場		107,751	48,786	65,536	△ 16,750
国保事業		797,524	302,289	356,204	△ 53,915
老人保健		892,610	372,583	382,503	△ 9,920
介護保険		499,505	204,934	189,083	15,851
町立診療所		295,970	65,715	132,941	△ 67,226
公共下水道		330,196	37,131	159,990	△ 122,859
個別排水		50,733	4,267	14,523	△ 10,256
簡易水道		324,489	97,902	157,851	△ 59,949

### ■一般会計予算歳出 (単位：千円)

区	分	予算現額	支出済額
議会費		69,077	34,012
総務費		562,526	239,520
民生費		934,671	367,889
衛生費		492,160	88,195
労働費		569	317
農林水産業費		751,449	133,821
商工費		123,980	93,188
土木費		393,298	87,782
消防費		253,805	121,613
教育費		629,661	294,253
公債費		34,963	34,269
災害復旧費		1,251,279	515,486
諸支出金		409	6
予備費		1,000	0
合	計	5,498,847	2,010,351

### ■公債費の現在高 (単位：千円)

区	分	金額
一般会計	総務債	2,440
	民生債	188,681
	農林水産業債	1,296,090
	商工債	49,858
	土木債	2,675,560
	消防債	31,752
	教育債	1,391,774
	災害復旧債	217,713
	北海道振興基金貸付金	87,304
	過疎債	1,989,002
	財源対策債	70,879
	調整債	8,069
	臨時財政特例債	39,520
	臨時税収補てん債	36,062
	減税補てん債	171,128
	臨時公共事業債	35,197
	臨時財政対策債	1,271,867
	町有林野整備事業債	152,316
	町立診療所建設事業債	376,271
特別会計	公共下水道事業債	2,398,585
	個別排水処理事業債	217,197
	簡易水道事業債	2,632,880
合	計	15,340,145